



こん の ひろ ふみ
今野 裕 文
(日本共産党)

予算編成上の基本的考え方は

質問

財政計画上織り込まれていない交付金、補助金、あるいはそのお金で実施された事業にあてる予算分を有効に活用し、住民負担の軽減や住民の願いを実現するために活用すべきと考えるが。

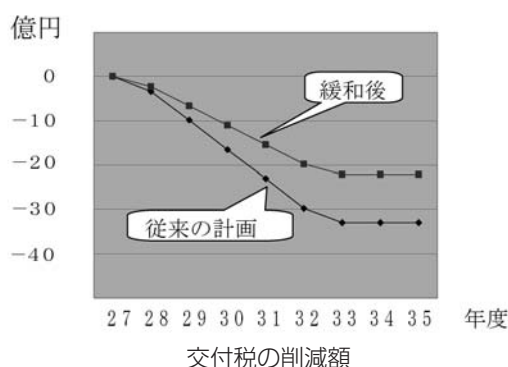
市長

予定していない交付金等により、起債（借金）を抑制できたことが大きい。しかし、5年後、10年後大変厳しい時期を迎えるので、将来世代に負担を残さないことが今最も重要だと考える。

財政計画の見直しを

質問

合併したことにより、交付税が33億円減らされるとして財政計画は立てられている。しかし、この交付税の削減が緩和され、理論的には歳入の不足は解消される。平成29年度から平成44年度まで126億円不足する計画だが、今度150億円交付税が増えることになるのか



市長

もし当初もくろんだ以上に苦しい時期が短縮できるといふところが見えてきた場合は、道路・橋梁などの長寿命化など社会基盤の整備などに向けていきたい。そのためにも財政計画について、平成27年度中に検討を始め、次の総合計画に合わせ見直しをしたい。



さ と う ひろ し
佐藤 洋
(新世会)

マニフェストにおける行革の取組み状況を

質問

市長は二期目、一年を振り返り、マニフェストにおける行財政改革の取組状況は。

市長

行革は、まず行政のスリム化の実現である。285項目の行革は断行する。将来世代にツケを先送りせず、改革を共有する市民との協働のもと合併効果を最大限引き出し、真に自立した自治体の基礎確立に努める。

総合支所のあり方は

質問

平成28年度から予定の総合支所再編後の支所庁舎活用をどのように考えているのか。

市長

支所空きスペース活用は、現時点ではないものの、今後は貸し付けの基準や考え等をまとめ、市民のご理解を得ながら市有財産の有効活用を進めたい。また、江刺総合支所と奥州地区合同庁舎の交換協議は、岩手県からの移転費用や所有権移転の要望などの課題があり、現在は解決策は見出せていないが、今後は、平成28年にかけて策定する公共施設等総合管理計画に

において、十分な検討に努める。

口腔ケア連携を推進

質問

先進的な取組みとしての本市の口腔保健・口腔ケア連携の状況と今後の方向性は。

市長

本年度も既に延べ174人の要介護高齢者等を対象に奥州市歯科医師会、ケアマネージャー介護職員との連携のもと在宅での口腔ケア指導、歯科診療に努めていただいている。さらなる包括ケア体制の充実を図り、食べる機能を回復することにより高齢者の健康長命を図っていききたい。



江刺総合支所